



4月8日(土) 9日(日) 10日(月) 11日(火)

GIII

被災地支援 桜花賞・海老澤清杯

初のナイターGIII 栄冠は!?

68周年記念 桜花賞・海老澤清杯は4月8日から11日の4日間開催される。今回は初めてのナイター記念という事で注目度も高く、しかもSS5人という豪華メンバーが集結。

現状の総合力では平原康多(埼玉87期)がリード。迎え撃つのは、先日高松で開催された新設のウィナーズカップで、自身初のGIIVを決めた地元(郡)の郡司浩平(神奈川99期)や、抜群のスピードを誇る浅井康太(三重90期)、稲垣裕之(京都86期)だろう。

11日の最終日には、川崎競輪場では初となるケイリンエポリニションが開催される。近況好調な長島大介(栃木96期)や競技経験の豊富な和田真久留(神奈川99期)等が出場し激戦必至だ。

S級注目選手

郡司 浩平

神奈川・99期



3月高松で開催された新設ウィナーズCを制覇して幕進中。前回は振り返ると、初日予選は、シリーズでの活躍を期待される1R1番車らしい積極的な走りを披露。鐘過気に飛び出すと、

最終バックはほぼ一列棒状に。番手選手の1着に貢献して内容は文句無。二次予選は売り出し中の取島雄吾(岡山107期)を、バック捲りで沈める。準決勝は根田空史(千葉94期)を使って番手捲り。関東勢に先着を許したが、結果3着で権利は確保。迎えた決勝戦は、稲垣裕之(京都86期)先頭の近畿ラインを受けて中団キープに成功。平原康多(埼玉87期)の動きを見極めて、絶妙のタイミングで捲りを放ちGII初Vを達成。目標としている平塚GPI7出場の夢を叶える為にも、地元記念でしっかりと結果を出したい。

平原 康多

埼玉・87期



今年に入ってからには確定板を外しておらず、安定感は群を抜いている。その上攻撃パターンも広く、逃げ捲り・追い込みとそれぞれの完成度は高い。今最も安心して買える選手と言っても過言ではないだろう。

前回高松で開催されたGIIウィナーズカップの初日特選は、7番手からコースを見極め直線中を鋭く伸びて3着。優秀戦の毘沙門天賞は吉田拓矢(茨城109期)を丸に使用して余裕の追い込み勝ち。準決勝は根田空史(千葉94期)マークから、郡司浩平(神奈川99期)が番手捲りを放つと、絶好位からキメ脚を發揮して2連勝。決勝戦は中団を確保した南関勢をねじ伏せる事とは悪くない。桜花賞は過去5回出場し、15年の決勝4着という結果にとまどうているが、今のコンディションをキープしていれば間違いなくV候補筆頭。

浅井 康太

三重・90期



前回松阪記念(GIII)の初日特選は、幾度となく好連係を決めている深谷知広(愛知96期)が鐘から勢い良く飛び出すと、近藤隆司(千葉90期)の捲りを牽制しながら直線抜け出し白星スタート。

2日目の蒲生氏郷杯は大激戦。三谷竜生(奈良101期)と吉田拓矢(茨城107期)の先行バトル。バックで捲った深谷知広の番手を、古性優作(大阪100期)に割り込まれ番手死守の事は出来なかったが、何とか3着を確保。

準決勝は目標にした三谷竜生が捲り不発に終わるも、終4角で先行した近藤隆司の内を捲って抜け出し1着。決勝戦はホームから深谷知広にスパートして絶好のV展開となつたが、脚を溜めた古性優作に逆転されてしまう。今年はまだGクラスでのVを達成していないが、相性良い川崎バンクでチャンスを狙う。



古性 優作

大阪100期



もともとタテ攻撃だけでなく、捌きの巧さにも定評はあったが、前回の松阪記念(GIII)で一気にブレイクした今年注目の選手だろう。

初日特選、2日目の優秀戦と連日番手回りのレースになり1着、2着と成績をまとめたが、準決勝での動きは実に古性らしいレースといえるだろう。打鐘で吉田拓矢(茨城107期)が先頭に立つと、4角追いつ上げて武田豊樹(茨城88期)に競り勝ち番手を奪うと、最後は強烈なキメ脚を發揮。決勝戦は深谷知広(愛知96期)と吉田拓也の叩き合いを見極めて、2C鋭い捲り追い込みで2度目となる記念V。

URBAN BANK
かわさきケイリン

注	松坂英司	岩津祐介	中村淳	稲垣祐之	林巨人	郡司浩平	浅井康太	平原康多	予想氏
大阪100期	神奈川82期	岡山87期	栃木69期	京都86期	愛知91期	神奈川99期	三重90期	埼玉87期	府県期別
S1	S1	SS	S1	SS	S1	S1	SS	SS	級別
8	5	3	2	7	3	6	9	11	1着
4	1	6	4	6	3	6	3	2	2着
3	5	1	4	2	3	3	2	3	3着
10	8	10	14	9	19	5	6	0	着外
1	1	0	0	0	1	0	1	0	棄権
0	0	0	1	0	0	0	0	0	失格
26	20	20	25	24	29	20	21	16	出走回数
30.7	25.0	15.0	8.0	29.1	10.3	30.0	42.8	68.7	勝率
46.1	30.0	45.0	24.0	54.1	20.6	60.0	57.1	81.2	連対率
57.6	55.0	50.0	40.0	62.5	31.0	75.0	66.6	100.0	3連対率
2	0	0	0	2	0	5	0	1	H数
10	0	0	0	4	0	9	2	5	B数
112.28	109.52	115.25	103.12	115.54	107.32	116.40	117.75	122.37	競走得点

被災地支援桜花賞・海老澤清杯決勝想定メンバー

EV注目選手

長島 大介

栃木96期



「地区プロや全プロではチームスプリント競技に出場していますし、カーボンフレームに対しての苦手意識等はないです。ただ、2回程度なので頻繁に乗っている訳ではないですが、自転車の性能は日々進化しているし、金額的にも有利不利はありませんけど、自分は昔から使用している物です。」

エポリニションは度出て見たかったですね。レースに対しては、そこまで細かい所は気にしませんよ。結局は点と点の争いになるので、展開等はあれこれ考えても仕方ない事ですからね。自力選手だけタイムシグが来たラスパットするだけです。ワールドカップに出場している和田真久留君(神奈川99期)とは競技経験の差もありませんけど、現状の力でどこまでやるのか楽しみにしています」